社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』第14号　2002（p.97）

【資料紹介】

星村平和監修『CD-ROM版　中学校社会科教育実践講座（ACROSS）』

（ニチブン，2002）128,000円

原　田　智　仁
（兵庫教育大学）

本年4月から小・中学校では新教育課程に切り替わった。周知の通り，「ゆとりの中で生きる力を育む」ことを理念に掲げているが，その実現のためには具体的な理論と手立てが不可欠である。とりわけ中学校社会科に関しては，授業時数が削減される中で，限られた事例を通して学び方を学ばせたり，見方考え方を身に付けさせることが求められている。地理的分野の内容構成は大幅に変わり，何をどう教えればよいのかという不安の声も聞かれる。また，「選択社会」や「総合的な学習の時間」との関連付けや，目標に準拠した評価の在り方など課題は山積している。

ところが，中学校現場は依然として多忙を極めており，社会科の生命とも言うべき最新の確かな情報の入手すら，なかなかできにくいのが実状である。その結果，教材開発に十分に取り組めないまま日々授業をこなしている教師も少なくない。これでは「生きる力の育成」はおぼつかないであろう。こうした課題に応え，新教育課程に即した中学校社会科の年間指導計画，単元計画，学習指導案，教材・教具，テスト問題，インターネットリンク集などをCD-ROM版で編集し，出版したのが本資料集である。CD-ROM版にしたのは，忙しい教師が必要に応じて内容を加工して取り出せるよう配慮したためである。

監修者を始め，編集委員や執筆者には本学会の会員が深く関わっており，密度の濃い内容に仕上がった。第1巻から第3巻までは理論編で，日本の社会科教育界を代表する研究者が執筆しており，ソフトカバーながら書籍にもなっている。その点で，本資料集は実践に対応するだけでなく，研究書としての機能も備えたものと言える。値段はかなり高いのに売れ行きが好調なのは，それだけ現場の教師たちが新しい教育の在り方に対し，期待と不安を抱えていると言うことであろう。なお，各巻の概要は下記の通りである。詳細はニチブンのホームページを検索，参照されたい。

○CD-ROM（全12枚）

第1巻　未来を拓く社会科カリキュラムと授業づくり（原田智仁編）
第2巻　追究する力をはぐくむ学習評価（大杉昭英編）
第3巻　生きる力をはぐくむ「選択社会」と「総合的な学習」（朝倉啓爾編）
第4巻　科学と子どもを結ぶ地理的分野の指導計画と学習指導（岩田一彦編）
第5巻　科学と子どもを結ぶ地理的分野のワークシート・テスト問題（祇園全禄編）
第6巻　学ぶ力をはぐくむ歴史的分野の指導計画と学習指導（木村博一編）
第7巻　学ぶ力をはぐくむ歴史的分野のワークシート・テスト問題（寺尾健夫編）
第8巻　現代に生きる公民的分野の指導計画と学習指導（江口勇治編）
第9巻　現代に生きる公民的分野のワークシート・テスト問題（谷田部玲生編）
第10巻　授業に生かせる教材・教具／インターネットの開発と利用（中村哲・福田正弘編）
第11巻　特別附録「分野別参考資料」
第12巻　特別附録「社会科改訂のポイント・動画ソフトの使い方」

○書籍

ガイドブック（ソフトカバー）1冊
理論編（ソフトカバー）3冊
社会科関連ホームページリンク集(中綴本)1冊
取扱説明書（中綴本）1冊